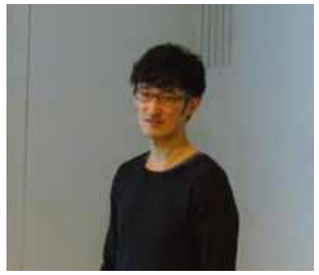
アルゼンチンアリの駆除方法



今回、取材させていただいた先生です!





砂村栄力さん
人を自然に近づける川いい会　博士チーム／農学博士・アリ研究家

アルゼンチンアリを家に侵入させないためには、速効的な殺虫成分や忌避成分を含むスプレー剤、粉剤を、壁やドア、窓の周囲に処理します。しかし、完全にバリアーするのは難しく、アルゼンチンアリは処理の行き届いていないわずかな隙間を見つけて家に入ってきます。また、巣の駆除には「ベイト剤」といって毒入りの餌を使用します。ベイト剤に含まれる毒は遅効的で、アリが巣に持ち帰って仲間にわけ、みんなで食べた後に効きはじめます。スプレー剤や粉剤とちがってアリはすぐには死にませんが、巣ごと駆除できるメリットがあるのです。

ベイト剤に含まれる毒自体はアルゼンチンアリにも効果があるのですが、大きな問題があります。それは、たとえば1個のベイト剤で1つの巣を駆除したとしても、まわりにはほかにたくさんのアルゼンチンアリの巣が残っており、しばらくするとそこから補充要員がやってきて新しい巣ができてしまうのです。そのため、建物のまわりの複数の場所、いや、街の一画全体にベイト剤を大量に処理してたくさんの巣を一気に駆除しないと、効果が長持ちしません。この駆除作業は地域の人たちが一体となって行わなければならない大がかりなものです。アルゼンチンアリはいったん広まってしまうと駆除するのが非常に難しいのです。

特定外来生物、アルゼンチンアリ。人間の生活に侵入されると非常に困る存在ですが、このアリが悪いのではありません。人間によって海外から持ち込まれ、その場に馴染んで暮らしているだけなのです。ですから、駆除する場合は、必ずひとつの「命」として取り扱ってほしいと願っています。

来た・見た・聞いた　淀川雑記帳

世界的にみて、アルゼンチンアリの根絶事例はほとんどありません。これ以上、被害を広げないためにも、室内で大量に発生するなどアルゼンチンアリと疑われるアリを見つけたら、各地方にある環境事務所や自治体などの専門機関に連絡してください。なお、アルゼンチンアリは特定外来生物に指定されているため、生きたまま持ち運ぶことは法律で禁止されています。駆除の相談等で現物を必要とする際には、必ず殺虫剤で絶命したものをご用意ください。

もっと深く勉強してみたいと思われる方は「アルゼンチンアリ　史上最強の侵略的外来種」をご一読してはいかがでしょうか。東京大学を中心としたアルゼンチンアリ研究グループが執筆した、アルゼンチンアリの専門書です。学術書ではありますが、一般にも理解できる平易な文章になっています。分類や生態、外来種としての被害の解説から、アルゼンチンアリの大家族についての研究最前線、日本への侵入経路や最新の駆除方法まで、幅広いトピックを扱っています。今回、解説していただいた砂村さんも執筆に関わった本です。大型書店や図書館に置いていますので、ぜひご覧くださいね。（編集長・石山郁慧）





アルゼンチンアリ　史上最強の侵略的外来種
田付貞洋 編、東京大学出版会

川と人　人と人を結ぶ
淀川管内 河川レンジャー
VER RANGER

デザイン監修：NPO法人nature works　泉野幸彦・ありさだあきよ
イラスト監修：NPO法人nature works　小村一也
取 材 協 力 ：人を自然に近づける川いい会
発 行 支 援 ：国土交通省 淀川河川事務所

バックナンバーは、http://npo-natureworks.net/　の「無料の資料」からダウンロードできます。

淀川自然画報
2015年4月号
号外
淀川水系の生物多様性を
見る・知る・楽しむ
生きものシグナル
YODOGAWA SHIZEN GAHO

特定外来生物「アルゼンチンアリ」特集



日本の侵略的外来種ワースト100選定種
アルゼンチンアリ *Linepithema humile*

皆さんはアルゼンチンアリをご存知でしょうか。わずか2〜3mmのアリなのですが、実は私たちの生活にたいへんな災いをもたらす厄介者。その名の通り、アルゼンチンなど南米原産のアリです。日本で初めて確認されたのは1993年広島県廿日市市ですが、この脅威の生物は日本中に広がっています。このアリの繁殖原因は、我々の生活に深く関係するので、この機会にぜひ知っておきましょう。

1　生態系を乱す

アルゼンチンアリは巣を造る場所を独占するために、在来アリを攻撃します。圧倒的な数の多さで、在来アリは負けてしまいます。また、新しいエサを素早く見つけるだけでなく、在来アリが食べない生物も捕食します。



2　農作物に被害をもたらす

柿やイチジクなどの果実を食べて農作物にダメージを与えたり、小さな存在なので農家が気づかず出荷することも。アリと共生するアブラムシを外敵から徹底的に守り大繁殖させることで、果樹が病気になる原因にもなります。



3　人に不快感を与える

わずかな隙間から家屋にも侵入して食べ物に群がったり、風呂場に棲みついたりします。攻撃性が強いため、人間や飼い犬などの動物に対しても、敵と見なして噛みつくことがあります。ちなみに毒はありません。



発行責任者　淀川管内河川レンジャー・石山郁慧

アルゼンチンアリの特徴

●外見



働きアリは体長2～3mm、女王アリは働きアリよりも大きく4～5mmです。体は薄い茶色。脚と触角が長く、スレンダーな体形をしています。



街中でよく見られる在来のクロオオアリは、約10mmです。

●家族



ひとつのファミリーに女王アリが多数います。女王アリは姉妹関係であるため、きわめて親和的。また、分家したファミリー同士は近くに棲み、親戚関係の交流を続けるため、分家を含めて巨大な一族を形成します。

●動き

在来アリの2倍近いスピードで動きます。素早く動けるということは、いち早くエサを見つけたり、在来アリへの攻撃も増すということです。

●行列







アリはエサを見つけると、巣にいる仲間にエサの場所を知らせます。そして、行列をつくってエサをとりにいきます。一般的な在来アリはきれいに1列に並びますが、アルゼンチンアリは太い行列をつくります。

●活動

在来アリの活動は春～秋で、冬は巣穴に閉じこもっています。一方、アルゼンチンアリは冬眠せず、冬でも活動。気温が5℃以上であれば、地表に出て活動します。



●分布

原産地はアルゼンチンを含む南米です。1900年までにアメリカやヨーロッパで確認され、その後、オーストラリアやアジアにも渡りました。船で運ばれる荷物にまぎれて拡散したと思われます。1993年、広島県の廿日市市で発見されたのが、日本への侵入第一号です。その後、中国地方に広がり、1999年には神戸市、2007年には大阪市、2008年には京都市でも見つかりました。











●生息環境

まずは船荷にまぎれて港に侵入。その荷物が市街地に運ばれて、アルゼンチンアリは各地に広がっていきました。このアリは体をおおう殻が薄く、水分を奪われやすい体質です。そのため、海や河川、用水路など湿気の多い場所を好みます。

1　港に到着
アルゼンチンアリが棲みついている



大阪港



神戸港

2　市街地に移動
水のある場所に棲みつきやすい



京都市中書島



愛知県田原市

3　周囲に拡散
水のある場所から道路・公園・庭に移動



大阪市此花区
（大阪府内では1ヵ所のみ）

●巣

土の中、石の下、落ち葉の下、植木鉢の中や下、コンクリートの割れ目、畑のマルチの下など、いたるところに巣を造ります。在来アリのように迷路のような巣を掘ることはしません。ですから、石などをひっくり返せば、その場に女王アリ・働きアリ・卵が散乱している状態です。屋根さえあれば雑魚寝状態で暮らせるたくましいアリなのです。



神戸市



南アフリカ



山口県・岩国市